

シネマズライフ

2019年4月19日発行 第162号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『僕たちは希望という名の列車に乗った』題名は楽しそうだが、お話はかなり深刻。

【最近のこれはまずいぞ!】

『映画おしりたんてい カレーなるしけん』アニメだそうだが、この内容じゃあアニメでしか無理ですね。

映画の風景 日本の風景

※ 九十九島水族館 海きらり ※



— 九十九島水族館 海きらり

アメリカ版では、主人公・ヘンリーが働いているのが水族館。佐世保市にある**九十九島水族館海きらり**はイルカのナミとニハの息の合った「キャッチボール」で有名。言葉を見せられる。いつも思うのだが、ナミとニハの「キャッチボール」での素晴らしいコンピネーション力人間もあつたら、もう少しよい世界ができたと思えるのだが...

美女の名前は瑠衣。美術教師をしており、明るい大輔と瑠衣は意気投合、翌日に合コン約束をする。翌日、大輔は再びカフェを訪れに声をかけるが、まるで知らない人間に声をかけられたように冷たい。瑠衣を密かに見守っていたカフェの主人の話によると、一年前の事故で壊ると記憶を失う特殊な《記憶障害》になつていて、瑠衣の父親の健太と弟の慎太郎が彼女が悲しむのを恐れ毎日同じ日を繰り返すように苦労していたのだ。話を聞いた大輔は、毎日瑠衣に会い彼女と「初めて会う」が、やがて大輔は一計を案じる...

『50回目のファーストキス』という映画があった。こんな映画だ。『50回目のファーストキス』という映画があった。こんな映画だ。『50回目のファーストキス』という映画があった。こんな映画だ。

『50回目のファーストキス』2018年 日本 監督 脚本：福田雄一 原案：『50回目のファーストキス』(2004年 アメリカ) 出演：山田孝之 長澤まさみ ムロツヨシ 勝矢太貴 山崎紘菜 大和田伸也 佐藤二朗

原作はアダム・サンダーとドリュー・ホルモアの同名アメリカ映画。日本版は山田孝之と長澤まさみ。ハートフルな展開は日本版と同じで、それぞれのキャラクターが生かされている。



— エリザベス1世

アン女王は晩年の話で、「不運」が重なりかなり性格のねじ曲がった時期の話だが、若い時はこれほど悪くはなかったと思うし、**メアリー1**！ステュアートも次々と結婚するも夫ははどいつもこいつもダメダメ男。フランス王妃となつた1人目のフランス王**フランソワ2世**は病弱で16才で亡くなり、後の二人は**メアリー1**の地位を利用しようとするだけ。しかし、2回目の結婚はその時は最良の方法と思つて結婚、3回目は完全に男の**メアリー1**の地位狙いで**【悲劇】**の結婚だった。

コラム
【幸運】 【不運】は
【偶発】なのか【必然】
なのか?と思う件

後編

庶民として暮らす私には、それほど**【幸運】**は来ないが、大きな**【不運】**もない。**【不運】**になつてもいいから、**《女王》**という**【幸運】**を経験したいという人もいるであろうが、私は大きな**【幸運】**はいららないから普通の庶民で暮らしたいと思うのだ。



↑ プレナム宮殿 アン女王から親友だったサラ・ジェニングスの夫マールバラ公ジョン・チャーチルに与えられた城

☆【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

シネマズライフ—cinemaz-life— 162号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》
『宇宙戦争』
《シネフィルWOWOW》
『スターゲイト』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/>

お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

§§§

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§§§

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト